

## 令和5年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住所	功績の概要
教育行政	なかもり いちろう 中森 一郎 (男) (60歳)	福井県教育庁課長(高校学力向上)(H30.4～H31.3) (兼)福井県教育総合研究所副所長(H30.4～H31.3) 福井県立若狭高等学校長(H31.4～R4.3) 福井県教育庁学校教育監(R4.4～R5.3)	小浜市	<p>永年にわたり、本県の国語教育の発展に尽力した。いち早く授業で討論の機会を設けたり、心の内を引き出して書かせる小論文指導を実践したりと、生徒が発信する活動を積極的に取り入れることにより生徒の自己肯定感の醸成に努めた。</p> <p>福井県立若狭高等学校長としては、学校運営、授業研究に幅広い手腕を発揮した。特に生徒支援を中心とした組織改革を実現し、地域資源を活用したSSH事業の探究学習の取り組みは全国的に高い評価を得た。</p> <p>また、県教育庁課長(高校学力向上)として県立学校全体の教育力の向上に貢献した。学校教育監としては、県立学校ばかりでなく、小・中学校教育にも様々な局面で指導力を発揮し、子どもが主役、子どもが主語の楽しい学校づくりのために勢力的にリーダーシップを発揮し、全国トップクラスの本県の学校教育に全力を尽くした。</p> <p>本県の学校教育および教育行政の充実発展に指導的役割を果たした功績は誠に多大なものがある。</p>
学校教育(小学校)	あおやま とおる 青山 亨 (男) (61歳)	越前市万葉中学校長(H31.4～R3.3) 越前市吉野小学校長(R3.4～R5.3)	越前市	<p>永年にわたり、確固たる教育理念に基づき、情熱をもって学校教育、理科教育の充実・発展に努め、着実に成果をあげた。平成25年から6年間は、越前市教科指導員に任命され、市内の理科教員の中心的存在として理科教育の発展を図るとともに、市内小中学校の研究会に参加し、理科教員の授業力向上に向けて的確な助言や指導を与えた。</p> <p>平成31年度からは校長として、命の大切さ、思いやりの心を育む道徳教育、人権教育の充実を図り、児童の人権意識の高揚に努めた。令和2年度には、越前市教育研究会副会長、越前市中学校教育研究会会長として、越前市の教育全体の発展に寄与した。吉野幼稚園長としても、令和3年には福井県公立幼稚園教育研究会副会長、令和4年には同研究会会長を務め、国からの最新情報や施策を各市町幼稚園に広めたり、各市町幼稚園の状況や課題を国へ進言したりするなど幼稚園教育の推進に努めた。</p>
	いたびさし きみえ 板底 貴美恵 (女) (61歳)	福井市長橋小学校長(H30.8～R3.3) 坂井市立春江東小学校長(R3.4～R5.3)	坂井市	<p>永年にわたり、小学校教育や特別支援教育を中心とした学校教育および教育行政の職務に精励し確固たる教育信念を持ち誠実な教育実践を続け、その充実発展に寄与した。</p> <p>平成24年度からは、福井県特別支援教育センター指導主事として、県内一般教員への学習支援・助言や研修開放等を通じて、特別支援教育に対する理解促進に貢献した。</p> <p>平成30年8月からは県小学校教育研究会へき地複式部会長の要職にあり、小規模校がその特性を生かした学校づくりに推進できるよう尽力した。また、校長として地域に開かれた学校づくりを推進し、信頼される学校の実現に向けて大きな成果を上げた。</p> <p>令和3・4年度は県特別支援教育研究連盟副会長、令和4年度は坂井市小学校教育研究会会長の要職にあり、本県の特別支援教育の充実発展や市内教職員の指導力向上等に努め、本県の特別支援教育や市内の小学校教育の推進役として優れた手腕を発揮した。</p>
	おおかわ しんすけ 大川 伸介 (男) (61歳)	越前町立四ヶ浦小学校長(H30.4～R2.3) 越前町立朝日小学校長(R2.4～R5.3)	越前町	<p>永年にわたり、英語科教育を中心に熱心な教育実践を展開し、専門性と指導力を発揮して、学習指導の充実を努めた。</p> <p>平成23年度からは、越前町教育委員会指導主事として、指導法の工夫改善や不登校児童生徒への対策について尽力した。</p> <p>また、平成30年度からは、校長として、子どもとの対話を重視し、実態に寄り添った学校運営を行い、保護者や地域住民から厚い信頼を得た。</p> <p>令和4年度は、丹生郡校長会長として、各学校間の連絡調整を担い、コロナ禍において、各学校の感染症対策を踏まえた教育活動の円滑な実施に大きく貢献した。</p>
	くぼ まりこ 久保 真理子 (女) (61歳)	勝山市立平泉寺小学校長(H30.4～R3.3) 勝山市立成器西小学校長(R3.4～R5.3)	勝山市	<p>永年にわたり、英語教育に力を注ぎ、平成25年度には県英語教育研究大会の事務局として、奥越地区の中心となり研究をまとめた。平成27年度に勝山市が英語教育強化拠点事業を受けた際には、「必然性のあるコミュニケーション活動」を念頭に話したくなる課題設定や指導方法の工夫改善に取り組み、生徒の英語力向上に尽力した。また、平成21年度から3年間は勝山市教育委員会指導主事として、小学校外国語活動の推進に力を注ぐとともに、就学支援や不登校児童生徒への対策にも取り組んだ。</p> <p>平成30年度からは、校長として、誠実で温かみのある指導力で、児童生徒の育成と教職員の資質の向上を目指した学校運営を行った。特に勝山市立平泉寺小学校では、地域の遺産を児童が語り部として紹介する活動に取り組み、市内外から注目を集めるとともに、地域住民からも高い評価を得た。地域に開かれた学校づくりを推進し、信頼される学校の実現に向けて大きな成果を上げた。令和4年度は県小学校教育研究会副会長、勝山市教育研究会会長として研究の充実・発展に努めた。</p>

## 令和5年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住 所	功 績 の 概 要
学校教育 (小学校)	こばやし かよ 小林 佳世 (女) (61歳)	坂井市立明章小学校長(H31.4～R3.3) 坂井市立大石小学校長(R3.4～R5.3)	坂井市	<p>永年にわたり、音楽科および国語科書写教育の充実に取り組み、国語科では白川文字学に基づく体系的な漢字教育の普及・推進に貢献し、書写教育では、福井県書道教育研究会の理事や書道展の審査委員長を務め、小中学生の書写教育の振興と充実に尽力した。平成21年には福井県教育委員会から授業名人に任命され、国語教育を中心に自身の熱心な教育実践を県内に広く展開した。</p> <p>平成23年からは、坂井地区地方教育委員会連絡協議会および坂井市教育委員会の指導主事として3年間、国語教育だけでなく、各教科の授業や研究について適切な指導・助言を行い、授業改善や教員研修に取り組んだ。</p> <p>令和4年度は、坂井市小学校長会長の要職にあり、教育研究の推進と向上に優れた手腕を発揮し、県および市の小学校教育の充実・発展に寄与した。</p>
	さいとう まさよ <b>齋藤 雅代</b> (女) (60歳)	勝山市立野向小学校長(H28.4～H30.3) 勝山市立村岡小学校長(H30.4～R2.3) 勝山市立成器南小学校長(R2.4～R5.3)	勝山市	<p>永年にわたり、小中学校において音楽科教育を中心に熱心な指導を実践し、特に、児童生徒の感性を育て自主的で豊かな表現活動を大切にされた指導方法の工夫改善に取り組み、学校教育の充実・発展に貢献した。</p> <p>また、部活動の指導においても、優れた指導力を発揮し、吹奏楽指導を通して、生徒の技術力や表現力の向上と健全育成に努力した。</p> <p>平成28年度からは、小学校長として、一人ひとりを大切にされた授業や生徒指導の在り方を追求し、児童・教職員ともに「居心地の良い学校づくり」に努めた。</p> <p>令和4年度は、勝山市小学校長会会長として、勝山市の教育の充実・発展に努めた。</p>
	たきもと りつこ 滝本 律子 (女) (61歳)	敦賀市立敦賀西小学校長(H30.4～R2.3) 敦賀市立中郷小学校長(R2.4～R5.3)	敦賀市	<p>永年にわたり、小学校教育に情熱を注ぎ、特に、研究主任として算数教育の研究推進に努め、子どもたちの興味・関心を高めるとともに、主体的な学びによる授業づくりを中心に研究実践に取り組んできた。</p> <p>平成30年度からは、小学校長として、個に応じた指導の充実、業務改善による働き方改革にリーダーシップを発揮した。</p> <p>令和3年度には県小学校長会副会長、令和4年度には敦賀市校長会長の要職にあり、本県小学校教育の充実・発展に努めるとともに、教育研究の推進と向上に取り組み、本県小学校教育の推進役として優れた手腕を発揮した。</p>
	なかや ただひろ 中谷 忠裕 (男) (61歳)	福井市酒生小学校長(H30.4～R3.3) 福井市社北小学校長(R3.4～R5.3)	福井市	<p>永年にわたり、小中学校教育および教育行政において職務に精励した。特に社会科教育や総合的な学習の研究に力を発揮し、本県の教育に大きく貢献した。</p> <p>平成11年度から2年間は県教育研究所に内地留学し、社会科や特別活動等の研修講座を企画するなど、受講者の力量向上に尽力した。</p> <p>平成30年度からは小学校長を務めた。家庭との連携を大切にしながら、家庭学習の充実を図るとともに、困り感を抱える子どもへの指導について教職員の互助と関係機関の協力により解決を図り、全児童が登校できる学校づくりを推進した。令和4年度は県小学校教育研究会会長として、本県の小学校教育の充実を図るため、多くの事業推進に尽力した。</p>
	なかや ひでし 中屋 秀志 (男) (60歳)	坂井市立春江東小学校長(H31.4～R3.3) 坂井市立平章小学校長(R3.4～R5.3)	あわら市	<p>永年にわたり、学校教育および教育行政の職務に精励し、その充実発展に貢献した。特に、体育科教育では、積極的に研究実践を重ね、平成21年度は坂井地区地方教育委員会連絡協議会指導主事として地区内の教員の指導力向上に努めた。平成22年度から県教育庁スポーツ保健課で教育行政に携わり、国立教育政策研究所の体育研究指定校に指導助言を行った。また、小学校低学年の体育の授業に外部人材を講師として派遣する「小学校低学年体育支援事業」の立ち上げなど、県内の小学校体育科教育発展に貢献した。</p> <p>平成31年度から小学校長となり、坂井地区小学校教育研究会体育部会長として体育科教育の研究推進に努めた。特に、日本体育の第一人者である大学教授や日本フットボール協会関係者を講師に招いて研修会を開催するなど坂井地区体育科教育の振興に寄与した。</p> <p>令和4年度には、坂井地区校長会会長および坂井地区教育振興研究会会長に就任し、坂井市・あわら市の校長の連携と坂井地区の教育振興に貢献した。</p>

# 令和5年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住所	功績の概要
学校教育 (小学校)	ひらい かずお 平井 和雄 (男) (60歳)	敦賀市立黒河小学校長(H30.4～R2.3) 小浜市立今富小学校長(R2.4～R5.3)	小浜市	<p>永年にわたり、算数・数学教育を中心とした教育実践に励み、児童生徒にとって「わかる・できる」授業を目指した教育実践に尽力した。</p> <p>小浜市教科指導員を5年間務め、市全体の算数・数学の授業力の向上に尽くした。また、平成8・9年度には県教育庁嶺南教育事務所研修課に勤務し、研修講座等で嶺南地区の算数・数学教育の更なる充実に努めた。</p> <p>平成11・12年度に兵庫教育大学大学院へ内地留学し、自尊感情を教科の授業の中で育成する研究に取り組んだ。その後、大学院での学びを生かし、授業における実践を通して自尊感情を育て、不登校やいじめの未然防止に努めるなど、研究の成果を遺憾なく発揮した。</p> <p>平成30年度からは小学校長として、これまでの経験と研究を生かし、誠実で温かみのある指導により、ふるさと教育を核とした児童・生徒の育成と教職員の資質の向上および働き方改革を目指した学校運営を行った。</p> <p>令和4年度は、福井県小学校長会副会長として、県下の教育力向上のために尽力した。また、小浜市校長会長として、コロナ禍で中止していた行事の再開、教職員の業務改善策の取りまとめなど、山積する課題解決に積極的に取り組み、市の教育の充実・発展および教職員の労働環境の改善に寄与した。</p>
	まきの のりあき 牧野 憲昭 (男) (61歳)	勝山市立三室小学校長(H30.4～R5.3)	勝山市	<p>永年にわたり、小中学校教育に情熱を注ぐとともに理科教育の研修に励み功績を上げた。</p> <p>平成23年から6年間、県中学校教育研究会理科部会勝山支部長を務め、中学校の理科教育のリーダーとして取りまとめを行った。平成29・30年および令和2・4年の4年間、県小学校教育研究会理科部会勝山支部長を務めた。</p> <p>また、平成30年度からは、複式学級を有する小学校の校長として、児童や保護者、地域に寄り添った教育に尽力した。</p>
	まつみや ひろあき 松宮 弘明 (男) (61歳)	若狭町立三方小学校長(H30.4～R2.3) 若狭町立鳥羽小学校長(R2.4～R5.3)	若狭町	<p>永年にわたり、小学校教育に情熱を注ぎ、主体的な児童を育てる授業づくりや学級経営の在り方についての研究・実践に努めた。</p> <p>平成24年度からは、県教育庁嶺南教育事務所特別支援教育課長として、県の特別支援教育の振興に尽力した。</p> <p>平成30年度からは、小学校長として、「自主・自立(自律)・協働」の心情や態度を育成する教師集団づくりを目指した学校経営を行った。</p> <p>令和4年度は若狭町校長会長として、地域の教育の充実・発展に努めるとともに、「若狭町教職員働き方改革委員会」における推進役として優れた手腕を発揮した。</p>
	もりなが てつや 森永 哲也 (男) (61歳)	福井市清水西小学校長(H31.4～R3.3) 福井市春山小学校長(R3.4～R5.3)	福井市	<p>永年にわたり、小学校教育および日本人学校教育において職務に精励した。特に社会科教育やへき地教育に力を発揮し、本県の教育に大きく貢献した。</p> <p>平成13年度から3年間、アテネ日本人学校に教諭として勤務した。日本の教育課程に準じた海外での教材開発や指導方法について研究したり、校内LANを整備しインターネット環境を充実させたりした。</p> <p>平成31年度からは小学校長を務めた。県図書館研究部会長を務める一方で、働き方改革を推進し、行事の効率化と簡素化を図った。また、令和4年度には、福井市校長会長を務め、水泳学習の実施や連合体育大会の開催に寄与した。</p>
	やまざき ともゆき 山崎 智幸 (男) (60歳)	越前市教育委員会課長(H28.4～H31.3) 越前市大虫小学校長(H31.4～R4.3) 越前市国高小学校長(R4.4～現在)	越前市	<p>永年にわたり、確固たる教育信念に基づき、卓越した指導力と情熱を持って学校教育、教育行政の充実・発展に努め、着実に成果をあげた。特に体育の教科指導では、授業研究はもとより、児童が楽しみながら体力を向上させるための環境作り、教職員がストレスを感じずに体育指導を行うための体育器具室運営、効率的でシステマティックな校内体育行事の運営など、マネジメント力を大いに発揮した。</p> <p>平成18年度から6年間は越前市教育委員会体育指導主事として、市内幼・小・中学校の危機管理、保健、給食、体育などを中心に、各学校の指導力、教育力向上に取り組んだ。</p> <p>平成27年度から4年間は越前市総務部国体推進課に派遣され、政経財会や自治会など関係団体の協力を得た地域醸成の推進など、市民手作りの国体開催に寄与し、大会の成功に大きく貢献した。</p> <p>平成31年度からは小学校長として、一人一人の子どもを大切にして誰一人取り残さない、あたたかく魅力ある学校づくりを実践している。</p> <p>また、令和4年度には越前市小学校長会長として、感染症対応や働き方改革、業務改善などの情報共有に努め、市内小中学校の教育振興発展のため尽力した。</p>

松

崎

## 令和5年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住所	功績の概要
学校教育 (小学校)	やまもと ゆういち 山本 裕一 (男) (61歳)	福井市藁小学校長(R2.4～R5.3) (兼)福井市藁中学校長(R2.4～R5.3)	福井市	<p>永年にわたり、小中学校教育において職務に精励した。特に数学教育や部活動指導に力を発揮し、本県の教育に大きく貢献した。永年県中学校教育研究会数学部会の研究の携わり、数学が好きな生徒を増やすため、授業研究を推進してきた。</p> <p>また、複数の生徒指導困難校に勤務し、学校の秩序を守るため外部機関との連携を密に取り、学校を建て直すために尽力した。</p> <p>令和2年度からは小学校長を務めた。子どもたちが生き生きと学び合い、教職員が使命感を持って勤務し、保護者・地域に信頼される学校づくりに邁進した。また、保護者・地域との連携を絶やさず行い、学校教育の目的、本校の教育、児童生徒の成長、家庭に望むことなど、学校が進んでいく方向をタイムリーに示し、経営参画を図った。</p>
	よしだ ひろき 吉田 宏樹 (男) (61歳)	福井市清水南小学校長(R2.4～R5.3)	福井市	<p>永年にわたり、小中学校教育において職務に精励した。特に算数・数学教育において福井市中学校教育研究会数学部会で、コンピューター委員会に所属し算数教育の研究を推進し、本県の算数・数学教育に大きく貢献した。</p> <p>令和2年度からは小学校長を務めた。3年間にわたり、学校教育目標「明るく、直く、たくましく」、めざす児童像「心豊かな子、進んで学ぶ子、たくましい子」達成のために、スクールプランを立案し、教職員の共通理解をもとに取り組んだ。</p> <p>また、令和3年度には福井県視聴覚教育研究大会小学校発表校として「なかまとつくる確かな学び～ICTの特性を活かした学びの充実～」を研究テーマに発表を行い、県下69名の参加者を迎え、成功裏に大会を終えた。</p>
学校教育 (中学校)	おがた としひろ 尾形 俊弘 (男) (61歳)	越前市武生東小学校長(H31.4～R3.3) 越前市万葉中学校長(R3.4～R5.3)	越前市	<p>永年にわたり、学校で最優先すべきは児童生徒の命であり、一人一人の可能性を伸ばし幸せを実現することであると自覚し、教職に携わってきた。専門とする英語教育について、児童生徒のコミュニケーション能力の向上を図るため、勤務校はもちろん、市・地区・県英語研究会等で諸活動に励んだ。</p> <p>平成29年度からは、県教育庁義務教育課参事(外国語教育)として、市町教育委員会と学校の実践を支援するという方針で、小学校や中学校だけでなく高等学校とも深く関わり、小・中・高の指導が一体化するよう改革を進めた。</p> <p>平成31年度からは、校長として「どの児童生徒も安心して過ごせる学校」、「家庭・地域に開かれた学校」、「教職員の力量を高める学校」を作ることに重点的に取り組んだ。</p> <p>令和4年度には県中学校教育研究会英語部会長として、児童生徒の英語コミュニケーション能力を高めることに貢献した。</p>
	くろかわ ともゆき 黒川 智幸 (男) (60歳)	坂井市立三国中学校長(R2.4～R5.3)	坂井市	<p>永年にわたり、確固たる教育信念を持ち誠実な教育実践を続け、学校教育の充実発展に大きな功績を残した。特に、中学校の技術・家庭科教育に力を注ぎ、坂井地区の視聴覚教育の充実、教師の資質向上に貢献した。</p> <p>令和2年度からは、中学校長として、豊富な経験と深い思慮に基づいた学校経営を行い、リーダーシップを発揮した。コロナ禍で様々な制限がかかる中、行事等の縮小に目を向けるのではなく、生徒のために最大限工夫してできることに取り組むよう職員に指示した。</p> <p>令和3年度には、坂井地区中学校教育研究会会長として、コロナ禍であっても生徒に資するために教員にとって有意義な教育研究を進められるよう、地域の教育の充実に努めた。</p> <p>令和4年度には、坂井地区中学校長会長および坂井市校長会副会長、県中学校長会副会長の要職に在り、坂井市はもとより坂井地区、県内の学校教育の充実・発展に努めるとともに、教育研究の推進と向上に取り組んだ。</p>
	こうとう せいりゅう 向当 誠隆 (男) (61歳)	福井市上文殊小学校長(H30.4～R3.3) 福井市森田中学校長(R3.4～R5.3)	福井市	<p>永年にわたり、小中学校教育および教育行政において職務に精励した。特に社会科教育において、興味・関心が湧くような授業を常に心がけ、教材開発や指導方法の改善等、意欲的に教育実践を続け、本県の社会科教育の充実・発展に尽力した。</p> <p>平成21年度からは、県教育庁義務教育課と学校教育政策課の2課に勤務し、福井県の教育行政に尽力した。義務教育課では、社会科教育、NIE教育、キャリア教育、ふるさと教育、環境教育、全国学力・学習状況調査、夢を育てる講演会など、県全体に関わる教育の推進と発展のために活躍した。学校教育政策課では、福井県の教育力の高さを全国的に発信するための事業を協働で企画・運営した。</p> <p>校長にあつては、教職員と協働しながら地域とつながる学校経営を推進した。県小学校長会役員、県中学校長会人事行財政対策部長や理事、県社会科研究協議会長、福井市中学校長会長として、本県の小中学校教育の発展に尽力した。</p>

## 令和5年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住 所	功 績 の 概 要
学校教育 (中学校)	こばやし たかし 小林 孝史 (男) (60歳)	福井市足羽第一中学校長(H31.4~R3.3) 福井市明倫中学校長(R3.4~R5.3)	福井市	<p>永年にわたり、中学校教育において職務に精励した。特に、保健体育科教育においては、生涯にわたって運動やスポーツに親しみ、幸せに社会を生き抜くための資質・能力を育成する楽しい体育学習の推進に積極的に取り組み、本県の保健体育科教育の向上に尽力した。</p> <p>平成16年度から3年間は県中学校体育連盟副理事長、平成19年度から4年間は同連盟理事長、令和3年度から2年間は同連盟会長を務め、運動部活動に関わる諸問題の対応に尽力した。</p> <p>平成31年度からの4年間は校長を務める中で、「生徒の主体的な活動の推進」はいかにあるべきか、教職員が「考える組織」となるにはどうしたらよいかを中心に据えた学校経営に尽力した。</p>
	すずき かずよし 鈴木 和欣 (男) (61歳)	鯖江市教育委員会教育審議官(H30.4~R2.3) 鯖江市東陽中学校長(R2.4~R4.3) 鯖江市鯖江中学校長(R4.4~現在)	鯖江市	<p>永年にわたり、確固たる教育信念を持ち誠実な教育実践を続けた。特に、中学校において社会科教育を中心に熱心な指導を實踐し、学校教育の充実・発展に大きな功績を残した。</p> <p>教育行政の分野においても、鯖江市教育委員会教育審議官として市の教育行政の振興に尽力した。</p> <p>令和2年度からは、中学校長として教職員を指導しながら、生徒たちの良さを伸ばす学校経営を行って大きな成果を上げ、地域住民からも高い評価を得た。</p> <p>令和4年度は、鯖江市校長会長として、市下の教育向上のために尽力した。</p>
	たかはし かずよ 高橋 和代 (女) (61歳)	福井市越廼中学校長(H30.4~R3.3) 福井市安居中学校長(R3.4~R5.3)	福井市	<p>永年にわたり、小中学校教育および教育行政において職務に精励した。特に国語科教育において、探究的な単元デザインを考え、カリキュラムの開発に取り組んだ。福井大学教育地域科学部附属中学校では、探究的な国語の授業デザインに挑戦し、論文にまとめて発表したり、教育雑誌への執筆依頼を受けたり、学会で発表したりすることで授業観の再構築を行い、国内に広める役目を果たすことができた。</p> <p>平成24年度からは、県教育庁義務教育課指導主事および主任として、県の学力向上、教師教育・国語科教育の向上に尽力した。特にコア・ティーチャー養成事業や古典学習の充実に関心に取り組んだ。</p> <p>校長にあつては、地域学習をカリキュラム化し、生徒も教師も育つ学校経営を推進した。令和4年度は福井市中学校長会副会長を務め、県女性校長・教頭会長として、質の高い研修によって女性管理職の力量向上にも尽力した。</p>
	たまい しげひろ 玉井 茂博 (男) (61歳)	若狭町立三宅小学校長(H30.4~R2.3) 若狭町立上中中学校長(R2.4~R5.3)	若狭町	<p>永年にわたり、温厚な人格に加えて誠実な教育実践を続け、数学科を中心とした学校教育の充実発展に貢献した。</p> <p>上中町教育委員会社会教育主事、国立若狭湾少年自然の家専門職員、県教育庁生涯学習文化財課参事(社会教育)を歴任し、教育行政の分野でも貢献した。</p> <p>平成30年度からは、校長として、生徒の主体性向上・自己有用感の育成、社会に開かれた教育課程を意識したふるさと教育の推進の推進に努めた。</p> <p>令和4年度は、県中学校長会副会長を務め、県内の中学校教育の充実発展に尽力した。</p>
	どうせき なおや 道関 直哉 (男) (61歳)	勝山市立荒土小学校長(H29.4~R3.3) 勝山市立勝山中部中学校長(R3.4~R5.3)	勝山市	<p>永年にわたり、社会科教育を中心とした教育実践に励み、授業に生きる教材研究に努めた。また、先進的なNIE教育の推進に取り組み、県NIE教育研究会の設立の中心的な役割を果たすなど新聞を活用した教育の充実・発展に尽力した。</p> <p>平成25年度からは、県教育庁生涯学習文化財課主任として、白川文字学の普及など県の社会教育行政の振興に尽力した。</p> <p>令和29年度からは、校長として、誠実で温かみのある指導力で、児童生徒の主体性の育成と教職員の資質向上を目指した学校運営を行った。</p> <p>令和4年度は、勝山市校長会長として勝山市の教育の充実・発展のために寄与した。</p>

# 令和5年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住所	功績の概要
学校教育 (中学校)	まきだ よしひろ 牧田 善浩 (男) (60歳)	越前市南越中学校長(H31.4~R3.3) 越前市武生第三中学校長(R3.4~R5.3)	越前市	永年にわたり、確固たる教育理念に基づきながら、常により良い教育を目指し、学校教育、保健体育、体育部活動、社会体育の充実・発展に努めた。特に保健体育指導では、生徒の体力向上のために、体育行事の見直しや体育器具の整備を率先して行い、生徒の運動意欲向上と体力向上に成果をあげた。 平成31年度からは中学校長として、開かれた学校づくりの重点目標の実現のため、地域の小中連携推進に努め、校区内の小学校教員を対象に授業を公開し、よりスムーズな小中接続と相互理解ならびに連携を深めた。また、人間関係づくりでは部会を立ち上げるなど、自ら学ぶ、豊かな人間性を備えた生徒の育成に取り組んだ。 令和4年度には、県中学校体育連盟南越支部長、県中学校体育連盟副会長として、南越地区のみならず、福井県全体の体育部活動の振興と発展のために尽力した。
	まつざわ しん 松澤 紳 (男) (60歳)	越前市武生西小学校長(H30.4~R3.3) 越前市武生第一中学校長(R3.4~R5.3)	越前市	永年にわたり、確固たる教育理念に基づき、卓越した指導力と情熱を持って学校教育、教育行政の充実・発展に努め、着実に成果をあげた。特に、社会科教育において、視聴覚教材開発や生徒の関心意欲を重視した指導に積極的に取り組み、社会科教育の向上に貢献した。 平成23年度から4年間は、越前市教育委員会指導主事として、市の教育行政を推進し、習得と活用というキーワードで授業改善を進め、学校の教育力を高めた。 平成30年度からは校長として、児童に多様性の概念を理解させるため行事を工夫したり講演会を開催したりして、一人一人の多様性から新しい価値を創出できる児童の育成に力を注いだ。令和2年度には、外国人児童生徒理解教育、異文化理解の取り組みにより、校長を務めていた越前市武生西小学校が文部科学大臣優秀教職員組織表彰を受賞した。 令和4年度は越前市校長会長として、市や県の教育方針の具現化に努め、越前市の教育向上のために尽力した。
	まゆみ じゅん 真弓 淳 (男) (60歳)	福井市殿下小学校長(H30.4~R2.3) (兼)福井市殿下中学校長(H30.4~R2.3) 福井市光陽中学校長(R2.4~R5.3)	福井市	永年にわたり、中学校教育および教育行政において職務に精励した。特に技術科において福井県の技術・家庭科教育の推進に尽力し、県中学校教育研究会での発表者、東海北陸地区研究大会での領域責任者として活躍し、本県の技術科教育に大きく貢献した。 平成10年度からは、福井県生涯学習センターに3年間勤務し、県の生涯学習情報端末の管理を行った。県民への生涯学習情報の提供などに尽力し、生涯学習の充実発展に貢献した。 校長にあつては、2年間、福井市殿下小中学校において、小中併設校である利点を生かし、地域から得られる学びを大切にしながら、ふるさとのよさを発信していく活動に取り組んだ。福井市光陽中学校での3年間は、コロナ禍であったが、子どもたちのために必要なことは何かを考え判断し、実行することで、大きな成果を上げることができた。
	やまぐち きみこ 山口 きみ子 (女) (60歳)	勝山市立平泉寺小学校長(H29.4~H30.3) 勝山市立鹿谷小学校長(H30.4~R3.3) 勝山市立勝山南部中学校長(R3.4~R5.3)	勝山市	永年にわたり、教育に情熱を注ぐとともに、小学校教育においては音楽科担当教員として、中学校教育においては国語科担当教員として研鑽に励み、児童生徒にできる・わかる喜びを与えるための授業を工夫し続けた。 平成24年度から2年間、勝山市教育委員会指導主事として教育行政の円滑な推進に尽力した。また、教職員の研修に積極的に取り組み、他市町や大学から人気の講師を招いて、授業の組み立て方や発問の工夫について学び合う機会を設け指導力向上に貢献した。 平成26年度からは小学校教頭を3年間務め、平成29年度には小学校長となり、県学校図書館教育研究大会長として大会を成功裏に収めた。令和3年度からは中学校長となり、令和4年度には奥越中学校体育連盟会長、県中学校体育連盟副会長を務めた。また、ポジティブ教育の推進を受け継ぎ、学校全体で研究を進めたことから、令和4年度文部科学大臣優秀教職員表彰(団体)を受けた。
学校教育 (県立学校)	よしかわ じゅんこ 吉川 順子 (女) (61歳)	福井県立奥越特別支援学校長(H31.4~R2.3) 福井県立福井特別支援学校長(R2.4~R5.3)	福井市	永年にわたり、豊かな知識と卓越した指導力をもって、特別支援教育・教育行政等、各分野で輝かしい実績を残し、本県の特別支援教育の振興と発展に寄与した。 小中学校では特別支援学級と教育相談を担当し、校内での特別支援教育啓発、ユニバーサルデザイン教育や道徳教育の充実に尽力した。また、県全体の特別支援教育の各種研究会で要職に就き、指導、助言を務め、その発展に寄与した。 平成29年度から、県教育庁高校教育課参事(特別支援教育)として、高校通級開始に向けた準備、医療的ケア充実、就学指導などに手腕を発揮した。 平成31年度から福井県立奥越特別支援学校長、令和2年度から福井県立福井特別支援学校長として勤務し、温かな言葉がけと対話を心掛け、風通しよく活気のある職場づくりを大切に丁寧な学校経営を行った。ミドルリーダーの育成にもその手腕を発揮した。また、本県のみならず中部地区の肢体不自由教育の充実・発展にも寄与した。

## 令和5年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住 所	功 績 の 概 要
学校教育 (部活動)	あおやま きょうこ 青山 恭子 (女) (60歳)	福井県立足羽高等学校教諭(H3.4～R5.3)	越前市	永年にわたり、中国語教育や部活動、海外との交流活動において熱心に教育実践を展開し、学校教育の充実・発展に寄与した。 部活動では、堪能な中国語を活かし、退職するまで中国語部を指導し、全日本中国語スピーチコンテストや漢語橋世界中高生中国語コンテスト等において、毎年のように優秀な成績で入賞者や代表者を輩出するなど、生徒の語学力向上に大きく貢献した。 また、福井県立足羽高等学校の国際部長として、国際科における中国や台湾、オーストラリア、ニュージーランド、アメリカの姉妹校等との交流を積極的に推進した。
社会教育	かわさき のりこ 川崎 則子 (女) (72歳)	越前市社会教育委員(H18.4～現在) 越前市社会教育委員の会副委員長(H18.4～H28.3) " (R5.7～現在) 越前市社会教育委員の会委員長(H28.4～R2.5)	越前市	平成18年に越前市社会教育委員に就任し、多年にわたり社会教育の推進・発展に寄与している。特に、平成28年度からの約4年間は越前市社会教育委員の会委員長を務め、リーダーシップを発揮し、越前市の社会教育の振興に大きく貢献した。 また、平成19年度から26年度においては、越前市放課後子どもプラン運営委員会および推進懇談会の副委員長を務め、放課後の子どもたちの安全で安心な居場所づくりのための計画(越前市放課後子どもプラン)策定・改定に大きく貢献しており、その功績は大きい。
	はやし しげる 林 秀 (男) (82歳)	金津町社会教育委員(H5.4～H9.3) あわら市社会教育委員(H22.4～現在) あわら市社会教育委員の会議長(H30.4～現在)	あわら市	平成5年から4年間は金津町社会教育委員を務め、平成22年からあわら市社会教育委員に就任した。平成30年からはあわら市社会教育委員の会議長を務め、多年にわたり社会教育の推進・発展に尽力している。 また、平成16年のあわら市誕生時に発足した「ゆうゆうと輝く市民の会」において、副会長として指導的な立場で企画や運営に携わり、ふるさとづくりや人づくりに努め、地域の活性化に向けた取組みを検討するなど、社会教育の振興・発展に貢献している。
	はやしだ とよこ 林田 とよ子 (女) (60歳)	(社)ガールスカウト日本連盟福井県支部書記(H21.4～H24.3) (一社)ガールスカウト福井県連盟副連盟長(H24.4～H26.3) " (R4.4～現在) (兼)(一社)ガールスカウト福井県連盟財政委員長(R4.4～現在) (一社)ガールスカウト福井県連盟連盟長(H28.4～R2.3)	坂井市	平成21年に社団法人ガールスカウト日本連盟福井県支部書記に就任以来、一般社団法人ガールスカウト福井県連盟副連盟長、同連盟長を歴任するなど、多年にわたりガールスカウト活動の発展に尽力し、少女たちの健全育成に大きな功績をあげている。同連盟長就任時にも精力的に活動し、県内のガールスカウト活動に大きな役割を果たした。 また、県内のヤングリーダー(20～35歳)の良き相談役としてリーダーをまとめ、若い指導者達の手本となっている。
	まえがわ としひろ 前川 俊弘 (男) (67歳)	日本ボーイスカウト福井連盟理事(H25.4～H31.3) 日本ボーイスカウト福井連盟理事長(H31.4～現在)	坂井市	平成25年に日本ボーイスカウト福井連盟の理事に就任し、平成31年には理事長に就任した。青少年への指導や指導者の資質向上・スキルアップを推進するなど、青少年の健全育成に寄与している。 平成25年からは事務局長として組織の要を担い、連盟の維持・発展のため大いに努力し、平成31年からは理事長として企画運営全般に携わり、組織の維持躍進に尽力している。

## 令和5年度教育功労者表彰被表彰者の概要

区分	氏名・性別・年齢	主な経歴	住所	功績の概要
社会教育	よしだ みつえ 吉田 三恵 (女) (75歳)  <b>恵</b>	福井県生活学校連絡協議会理事(S58.4～S62.3) 福井県生活学校連絡協議会副会長(S62.4～H2.4) " (H7.4～H9.4) 福井県生活学校連絡協議会会長(H2.4～H5.4) " (H10.4～H12.4) " (R2.5～現在)	福井市	昭和58年に福井県生活学校連絡協議会の理事に就任、副会長や会長を歴任し、多年にわたり生活学校運動の発展に尽力し、社会教育の振興に大きな功績を上げた。 特にトレーやペットボトルの自治体回収の道筋を造るなど、リサイクル社会の構築に尽力してきた。また、現在は、海洋プラスチックごみの削減運動に取り組み、メンバーと共に作成した紙芝居を用いて、SDGs目標達成を目指し、出前講座として県下各地に出向いて啓発の実践に努めている。